

CHAIR? GALLERY

タイプ別、構造別にみる
ウェグナーの椅子2
～生誕100年への序奏4～

- 期日：2013年11月5日(火)～
2014年5月25日(日)
- 開館時間：11:00～17:00(～4月30日)、
10:00～18:00(5月1日～)
- 休館日：毎週月曜日、12月30日～1月4日
- 主催：旭川デザイン協議会、
織田コレクション協力会
- 協力：旭川家具工業協同組合
- 入場：無料

旭川デザイン協議会展2014

my work

×
ありがとうかいだい展

今年のADA展は、会員の仕事をとり、3月に閉鎖する東海大学旭川キャンパスを題材としたコラボ展示を開催。東海大学の旭川地域に対する功績を伝えるための展示や、旭川県内各界で活躍している卒業生の作品など、旭川地域の歴史を伝える「ありがとうかいだい展」を実施いたします。ぜひこの機会に、広く市民の方たちにも東海大学のDNAをご覧いただきたく、足を運びいただきまますべて何卒よろしくお願いいたします。

2014.1.7.tue-1.26.sun

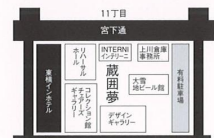
会場/デザインギャラリー (入場無料)
開館時間/11:00-17:00(最終日は16:00まで)
休館日/毎週月曜日
主催/旭川デザイン協議会



ASAHIKAWA DESIGN ASSOCIATION

旭川デザイン協議会

〒070-0030 旭川市宮下通11丁目 蔵園夢
コレクション館内
Tel.0166-23-3000 Fax.0166-23-3005
E-mail ada@ada.jp.org
Hp http://ada.jp.org/
2013 Vol. 28
発行日/2013年12月20日
発行/旭川デザイン協議会
発行責任者/伊藤 友一
編集/PR事業部
印刷所/株式会社製版旭川支社



<2013年度上期 自主企画展示報告>

JAGDA北海道ポスター展「dream」

- 会期/2013年4月23日(火)～5月5日(日)
- 会場/デザインギャラリー
- 主催/旭川デザイン協議会・社日本グラフィックデザイナー協会北海道地域
- 来館者数/227名
- 毎年恒例のポスター展です。
今回のテーマは「dream」。北海道のクリエイター達が70点のポスターに夢を込めました。

第46回旭川工芸デザイン協会展「クラフト レストラン」

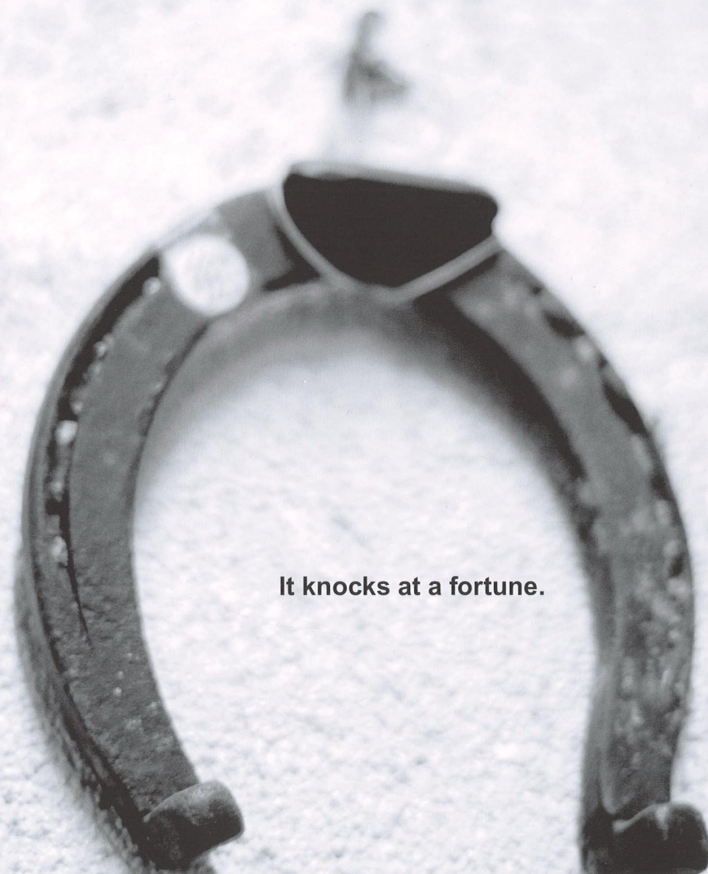
- 会期/2013年6月18日(火)～6月30日(日)
- 会場/デザインギャラリー
- 主催/旭川デザイン協議会・旭川工芸デザイン協会
- 来館者数/917名
- クラフト(工芸)と食材(トマト、豆類、そば、リンゴ、米、小麦、等)を販売する株式会社金手が組んで、「レストラン」感覚で展示会を開催しました。
レストランに最適なテーブルと椅子、照明器具、グラスや皿などの食器、スプーンなどのカトラリー、テーブルクロス、店内を個人的に見せる多種多様なクラフト装飾品を展示販売、そして食材も販売しました。
また、招待作家講演会として株式会社 社長 金田道徳氏をお招きし、6月23日(日)午後6時から開催しました。
講演会終了後には、蕎麦打ち名人「坂本勝之」氏の実演と美味しい試食会も開催し多くの皆さまに参加していただくことが出来ました。

aadc展2013 お店の広告Tシャツ展(みせT)

- 会期/2013年7月16日(火)～7月28日(日)
- 会場/デザインギャラリー
- 主催/旭川デザイン協議会・旭川広告デザイン協議会
- 来館者数/490名
- 今年は昨年の「メッセージTシャツデザイン展」よりさらに進化し、「みせ」=「店」「見せる」「T」=Tシャツというテーマのもと、旭川とその近郊のお店たちの今(いま)を伝える作品展を行いました。
また同会場にて7月27日(土)13時30分よりトークイベント「地方都市から発信すること」とも開催。ゲストとして、染谷哲義さん(株式会社カンディハウス 取締役 マーケティング本部 本部長)、コピーライター 西川佳乃さん(文屋)、アートディレクターやはすのよしゆきさん(株式会社20%)の3名をお招きし、クライアント、コピーライター、アートディレクターというそれぞれの立場から語り合いました。



ASAHIKAWA DESIGN ASSOCIATION
Design News 43 vol.28



It knocks at a fortune.

「三都市+ONE デザイン交流会議」in 函館2013 『はこだてグルメサーカス』視察報告

旭川広告デザイン協議会 会長 竹田貴治

今年の「三都市+ONE デザイン交流会議」in 函館は、9月8日(日)に行われる「第20回函館バル街」に合わせて、8日(日)と9日(月)の開催が決まりました。そこで、我等旭川デザイン協議会(ADA)は、旭川の「北の恵み食べマルシェ」に匹敵する食のイベント「はこだてグルメサーカス」が函館で7日(土)が開催初日と知り、前日の移動を利用して、食のイベント視察隊を編成することにしました。今、函館は、平成27年度の北海道新幹線開業を間近に控え、市制施行90周年、北海道新聞社創刊70周年という歴史的な節目で大変盛り上がっています。函館最大級の食のイベントとして、みなみ北海道地域や東北地域など、ゆかりのある都市の「美食」が集結、ステージイベントなど地域を盛り上げる楽しさ満載の企画を視察し、今後の旭川地域の食文化のヒントを得て来ようと考えました。

今回、伊藤会長(隊長)率いる視察隊は、「三都市+ONE デザイン交流会議」のメインの課題とされたポスターを完成させ、徹夜明けの隊員も含めた総勢7名のメンバーで、朝早く、車やJR、飛行機を乗り継ぎ、函館へとやってきました。そこで我々が目にしたのは、旭川の悪天候が嘘のような快晴。まさに、ADA会員の日頃の行いの良さ?の結果である(伊藤会長は噂によると晴れ男とか??)。

グルメサーカスは4つの広場で構成されており、まずは、JR函館駅から一番近い、「みなみ北海道ひろば」を訪ねることにしました。白と青の港街を思わせるとんがり型のテント群から、なんとも、たまらない良い匂いが漂ってきます。

時刻はちょうどお昼。すでに完売しているメニューもあり、地元食の人気が見えます。

我々の目に最初に飛び込んできたのは「焼きあわび」。さすが港町函館。

海の幸たっぷりの海鮮あんかけチャーハンには、「うい」や「いくら」がのっているなど、どれもこれも絶品。

ここで、空腹の勢いにまかせて食べ続け、お腹いっぱいになった視察隊メンバー。

各地のゆるキャラたちのステージを横目に、あと、3つの広場がある大門グリーンプラザ(メイン会場)には沢山の食べ物が出ているとは、つゆとも知らずにいました。

次に向かったのは、「海港都市と姉妹都市のひろば」。ここは、横浜、神戸、新潟、長崎、カナダ、ロシア、オーストリア、中国、韓国の珍しい料理と飲み物が楽しめます。

続いて向かった「函館と東北6県のひろば」では、北海道新幹線開業で距離がグンと近くなる東北のグルメがいっぱい。ここがメイン会場なのかと思わせるほどのお店の数々でした。函館の有名ラーメン店と函館地ビールを堪能し、更にお腹がはちきれそうになったが後の祭り。

時間的な都合とギブアップ寸前のお腹で、最後の「翼でつながる東京・大阪・名古屋のひろば」は視察でませんでした。食にまつわるステージイベントやエリアを巡るスタンプラリーなどがあるなど、函館市が官民一体となって、市民から観光客まで誰もが存分に楽しめる内容でした。

『はこだてグルメサーカス』

2013年9月7日(土)8日(日)
場所 大門グリーンプラザ・函館朝市第一駐車場
主催

はこだてグルメサーカス実行委員会
函館市 / 函館商工会議所 / 函館国際観光コンベンション協会 /
函館朝市協同組合連合会 / はこだてティームオー /
函館都心商店街振興組合 / 北海道新聞函館支社
2会場で、4つのひろばからなる。

- (1) 海港都市と姉妹都市のひろば
- (2) 翼でつながる東京・大阪・名古屋のひろば
- (3) 函館と東北6県のひろば
- (4) みなみ函館ひろば

があり、世界から、日本各地から、函館にゆかりのある都市の「美食」が大集結。
2日間で約17万人の来場者があった。

〈食のイベント視察隊メンバー〉

伊藤友一・清美、城台幸子、染谷哲義、
竹田貴治(aadc会長)、安達鈴香(aadc)、
森美弥子(aadc)



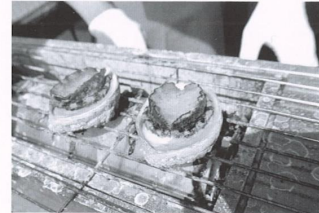
トはるばる来たせ函館空港
aadc レディース



食のイベント視察隊(撮影 安達鈴香(aadc))
JR 函館駅にて『はこだてグルメサーカス』のぼりについて



『はこだてグルメサーカス』の案内看板
『みなみ北海道ひろば』



焼きあわび



海の幸たっぷりの海鮮あんかけチャーハン
& いかげそ&海鮮焼きそば



各地のゆるキャラ&クイズのステージイベント



アーケードに掛かる垂れ幕



「海港都市と姉妹都市のひろば」



「函館と東北6県のひろば」



近くの神社の境内で一休み



ラーメン屋の塩らーめん&炙りチャーシュー



はこだての地ビール

隊員の感想

- 「はこだてグルメサーカス」や「函館バル街」開催のタイミングに合わせたデザイン交流会議に参加できて、とても刺激的でした。「観光」を地域産業の柱に据える函館が、「食」のイベントと絡めた地域をあげての戦略を目の当たりにし、イベントのあり方や情報発信など、我々にとって大いに参考となる視察となりました。(染谷)
- 函館は港町としての歴史が古く、本州に近い道南ということもあって、旭川とはひと味違い、海外や各都市との交流がグローバル的だと思います。(竹田)
- 天気にも恵まれ、歴史深く異国情緒あふれる街の真ん中で、美味しい食べ物に唸りに唸った視察旅行。同じ北海道、同じ食のイベントでも土地柄を活かした企画、見せ方、楽しませ方があり、旭川とはまた違う素敵なイベントでした。(森)
- 今回はグルメ三昧で大興奮の函館。北海道の発展や活性のため「観光と食」が不可欠という認識がさらに深まりました。三都市の特徴的なアピールポスターの発表や、バル街などのイベントを学ぶことができ、毎回知識と知恵をいただいています。(伊藤)